

コミケビギナーのための 超・速・解 アドバイス

ComiNavi



今回のコミケットはどのくらい寒いのか？どのくらい混むのか？何に気をつけないといけないのか？ 毎回のことながら最終的には当日になってみなければ分からないもの。せっかくの準備がムダになることだってありますが、『必要になる事態が起きなくて良かった！』と思えたらアナタもコミケットのベテランかも。

■ ■ そんな防寒装備で大丈夫か？ ■ ■

防寒は当然大切だが、コミケットという環境を考えた場合、重装備過ぎる防寒着は逆効果になることもあるので、最小限かつ必要十分な防寒装備を選択する必要がある。

これはなかなか難しいオーダーのように思えるかもしれないが、大きなヒントがある。それが屋外での待機時間が予定・想定されるかどうかである。

サークル参加者でも入場待機列や購入待機列などの屋外での行列に並ぶ可能性があるのなら、それ相応の準備はしておいたほうが良い。

そして、その屋外待機を想定される参加者はさらに開会前からの待機をするのか否かに分けることができる。その分類に従ってそれぞれに必要な防寒対策を考えてみよう。

■ ■ まずは基本の基本 ■ ■

どの場合であっても、防寒の一番の基本は肌に直接触れるアンダーウェア（以下：アンダー）の選択である。適切なアンダーウェアを着用すればそれだけで寒い／暑いという不快感と、脱ぎ着が面倒な上に、脱いでもかさばる上着の管理から開放されることもあるのだ。むしろ下手に上着の性能を追求するならアンダーをおごった方がコスト面・効果面共に遥かに有効だということは覚えておくと良いだろう。

因みに、予め触れておくと、ここで挙げる『アンダーウェア』というのはパンツやブラジャー等の『下着』のことではなく、その上に着る（下着の機能を兼ね備えているアイテムも多いが）いわゆる『肌着』を指しているので注意されたい。

というわけで、多くの男性諸氏は特に大きなこだわりなく極普通の綿100%素材のTシャツ等をアンダーとして着ている向きが多いことだろう。しかし、日頃以上に冬でも汗をかきコミケットの環境下では、汗を吸ったら乾きにくい綿の衣料は完全に不向きであると断言できる。アンダーに求められる機能はズバリ、汗を肌に触れる形で残さないことなのでここは一つ、少なくとも半分以上は化繊を混紡したものを選擇するよう強く勧めたい（肌質や体質などの問題がないようなら化繊100%推奨）。

上半身は長袖でも半袖でも構わないが**重要なのは裾丈だ**。かかんだりしゃがんだ際に簡単に肌が出てしまわない長めのものを選ぶとそれだけでシャツ1枚分の防寒になる。また、汗をかきやすい体質なら薄手の体温で乾きやすいもの、それほど汗かきでないならメッシュ織りなどの少し厚みのある保温性を重視したものが良い。

同様に下半身もできるだけ足首か膝下までの長さのあるアンダー（女性ならタイツ等でも良い）を履こう。保温効果が高く、足を冷やさないことで疲労軽減の効果もあってオススメだ。

ちなみに、最近は『汗の水分を吸収して発熱する繊維』でできた製品などもあるが、これは本来かいた汗で身体を冷やさないようにしながら蒸散を促すための機能である。

コミケットの会場でもあまり混んだ場所に行かない、とか、至極のんびりしか動かない、という人には良いが、積極的に動くようなら上に着るものを上手く選択して余分な汗を逃がしてやらないと、活動している時は暑く、そのせいで余計に汗をかいて待機している時には寒く感じるようなことにもなりかねないので、自分の汗のかき方や日頃の運動量などをよく考えて使いたい。